

用語の解説



(歳入の部)

市税／市民税、固定資産税などの市に納められた税金
 分担金及び負担金／施設入所者の負担金など
 繰入金／基金の取り崩しや他会計から入れるお金
 地方交付税／市町村の実状に合わせて国から交付されるもの
 市債／市が借り入れたお金
 国庫(県)支出金／国(県)からの補助金、負担金など
 自主財源／市が独自に収入するもの
 依存財源／国・県などから交付されるもの

(歳出の部)

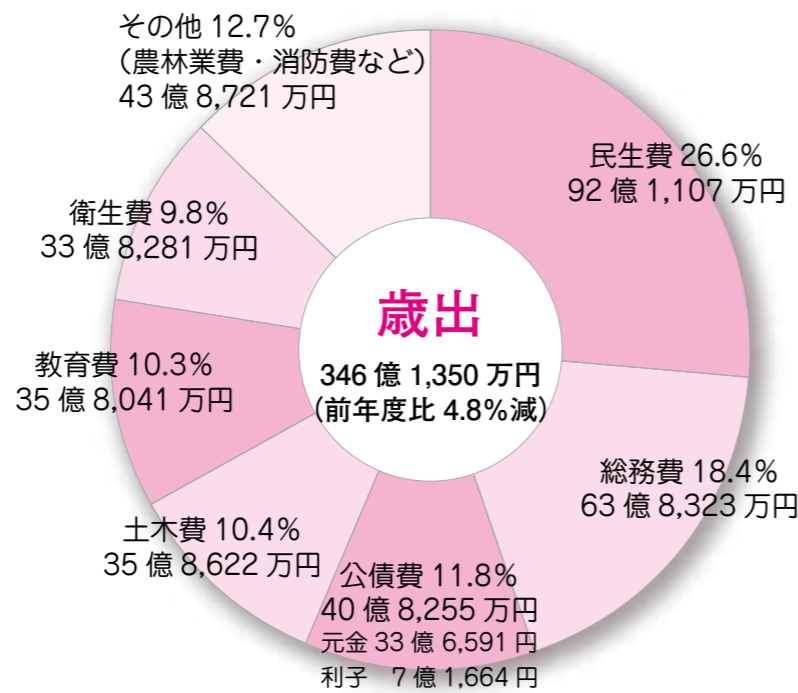
民生費／高齢者・児童・障害者福祉などの経費
 教育費／学校教育や生涯学習などの経費
 総務費／電算システムや戸籍・住民登録、庁舎の維持管理などの経費
 公債費／借入金(市債)の返済金と利子の支払い
 土木費／道路、河川、公園、市営住宅の整備などの経費
 衛生費／保健活動やごみ処理などの経費
 その他の支出／議会費、労働費、農林業費、商工費、消防費、災害復旧費など

(性質別の部)

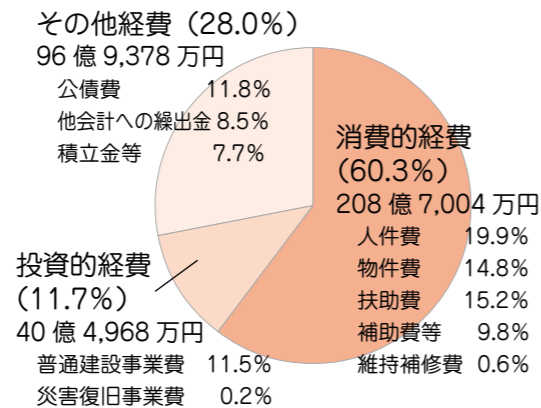
物件費／施設の保守管理、一般事務経費
 扶助費／生活扶助、教育扶助などの経費
 普通建設事業費／道路の新設、改良や施設の新増築などの経費
 災害復旧事業費／台風などで被害を受けた施設の復旧のための経費
 繰出金／一般会計から特別会計、企業会計への負担金や補助金など
 積立金／学校建設など、特定の目的のための積立

歳出
 歳出総額は、前年度決算額と比べ17億5,997万円、4.8%の減でした。
 主な増減としては、総合スポーツセンター建設完了により教育費・普通建設費が27億2,167万円減となる一方、子ども手当の創設により民生費・扶助費が10億1,410万円増加しました。
 国の経済対策による交付金活用事業では、子育て世代型住宅(土木費)の整備、道路河川の整備、消防自動車の購入などを実施しました。
 また、子育て応援プレミアム金券を発行するとともに、子ども医療費助成事業の対象を中学生までに拡大し、子育て家庭への経済的支援を図りました。

歳出の内訳 (構成比%)



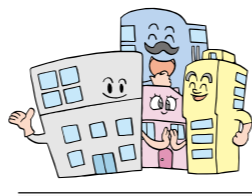
歳出の性質別構成比率



市の財産

有価証券	4,022万円
土地	2,343,050㎡
建物(延面積)	318,950㎡

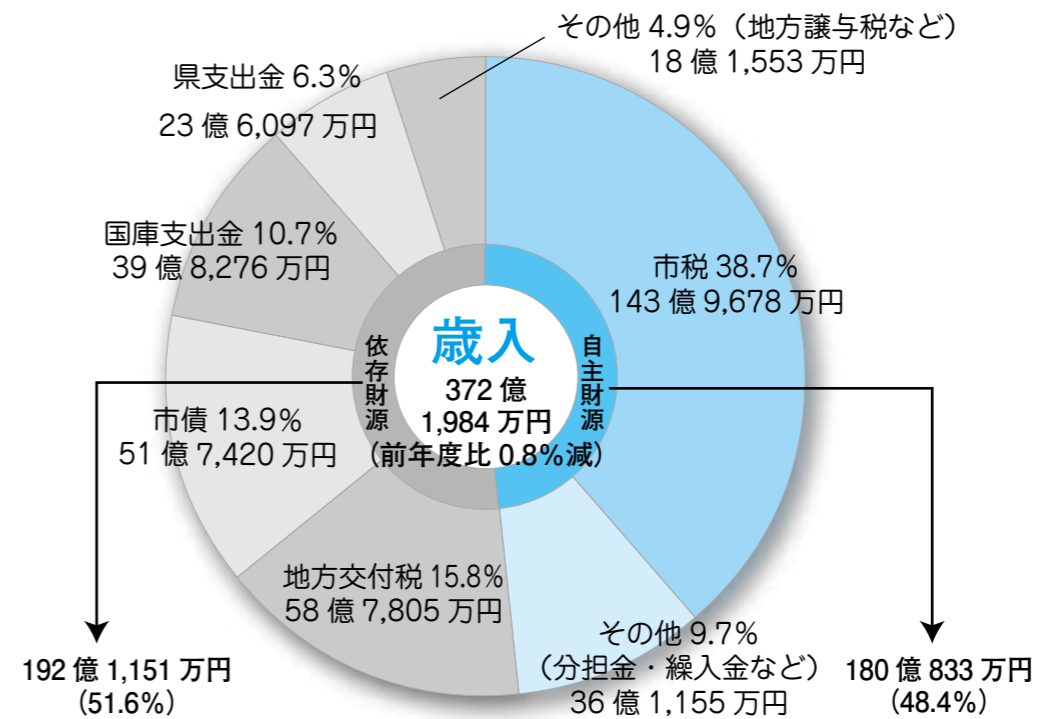
※平成22年度末現在



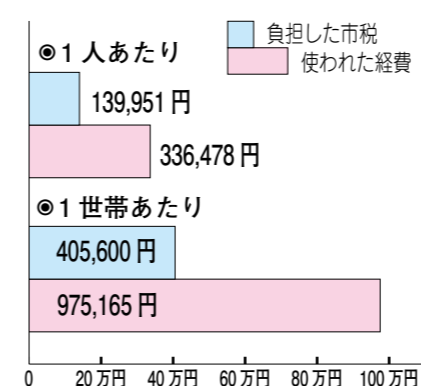
◆一般会計決算
歳入

歳入総額は前年度決算額と比べ2億9,624万円、0.8%の減でした。その主な要因は、国庫支出金について、子ども手当負担金の増の一方、定額給付金事業費や総合スポーツセンターの補助金の減により前年度に比べ26億4,477万円、39.9%の減となったことです。
 自主財源のうち市税は、経済状況の悪化により個人市民税が減となり、前年度に比べ3億4,403万円、2.3%の減となりました。
 依存財源では地方交付税が、国の経済対策や市税収入の減を反映して増となりました。
 全体として、自主財源の構成比は48.4%と前年度48.3%に比べ0.1ポイントの増となりました。

歳入の内訳 (構成比%)

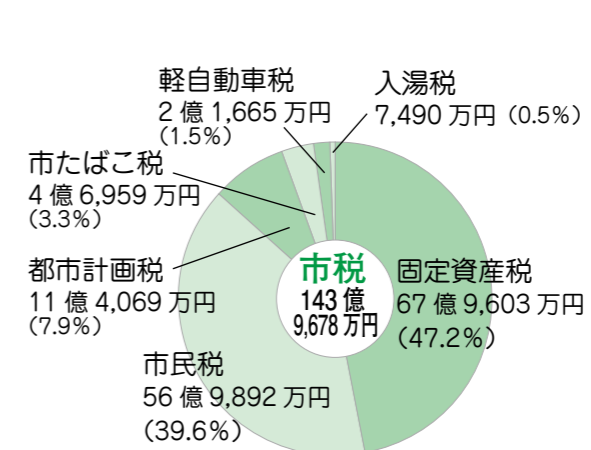


1人あたりの負担した市税と使われた経費



※平成23年3月31日現在(102,870人35,495世帯)で計算しています。
 ※負担した市税には、法人市民税や法人の固定資産税なども含まれています。

市税の内訳



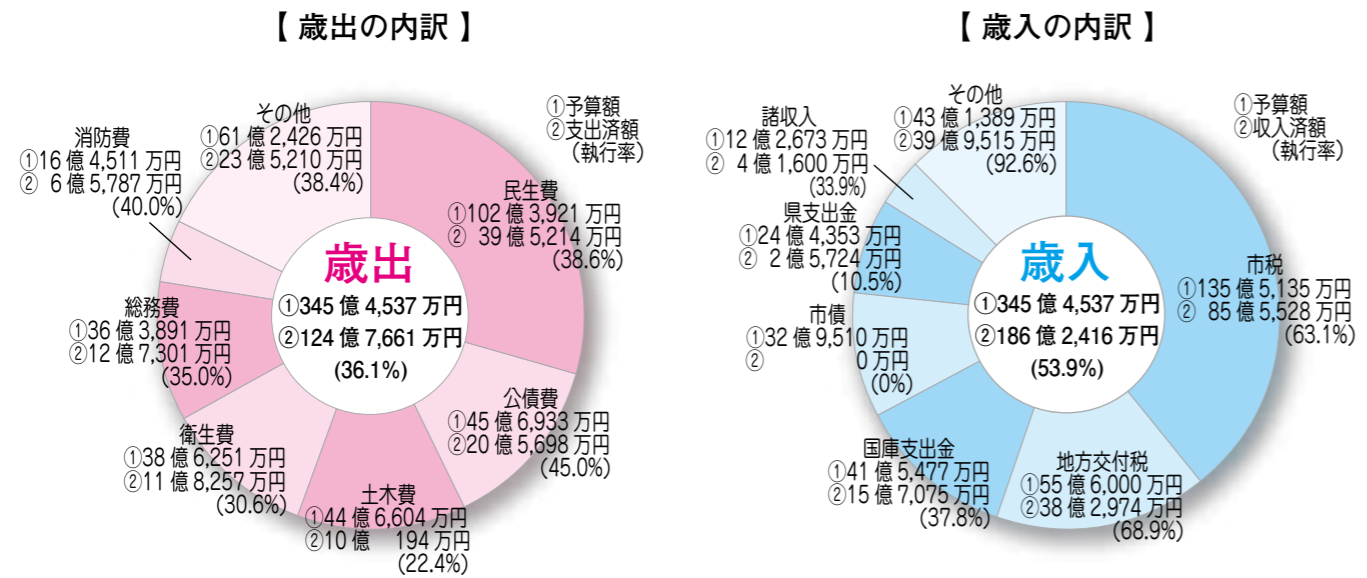
お知らせします 市の財政状況

問)財政課 ☎367123

市では、市民の皆さんに市の財政状況を知っていただくため、毎年6月と12月の年2回「市の財政事情」を公表しています。今回は、平成22年度の決算と平成23年度上半期(4~9月)の予算執行状況についてお知らせします。

平成 23 年度上半期執行状況 (平成 23 年 9 月 30 日現在)

◆一般会計執行状況 予算額 345 億 4,537 万円



◆特別会計執行状況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	89 億 7,089 万円	39 億 5,976 万円	41 億 2,422 万円
簡易水道	1 億 729 万円	5,412 万円	4,263 万円
土地取得	4 億 8,117 万円	4 億 8,117 万円	0 万円
休日急患診療	1,311 万円	1,077 万円	429 万円
公共下水道	8 億 431 万円	3 億 5,744 万円	3 億 2,685 万円
介護保険	69 億 9,642 万円	25 億 7,163 万円	25 億 8,269 万円
介護サービス	6,472 万円	4,280 万円	2,380 万円
後期高齢者医療	9 億 4,481 万円	3 億 2,317 万円	2 億 2,535 万円



市は子育て支援に力を入れています

◆企業会計執行状況

会計名	区分	収入		支出	
		予算額	収入済額	予算額	支出済額
水道事業	収益的	9 億 9,069 万円	4 億 6,882 万円	9 億 7,788 万円	2 億 9,181 万円
	資本的	1 億 4,141 万円	434 万円	4 億 4,526 万円	5,629 万円
	合計	11 億 3,210 万円	4 億 7,316 万円	14 億 2,314 万円	3 億 4,810 万円
病院事業	収益的	123 億 4,606 万円	63 億 1,316 万円	124 億 3,610 万円	55 億 1,001 万円
	資本的	9 億 5,982 万円	0 円	13 億 8,156 万円	5 億 4,769 万円
	合計	133 億 588 万円	63 億 1,316 万円	138 億 1,766 万円	60 億 5,770 万円

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	96 億 3,482 万円	90 億 8,809 万円
簡易水道	1 億 1,312 万円	1 億 808 万円
土地取得	4 億 5,998 万円	4 億 5,998 万円
休日急患診療	1,777 万円	1,149 万円
老人保健医療	1,044 万円	1,044 万円
公共下水道	7 億 9,789 万円	7 億 7,633 万円
介護保険	61 億 2,244 万円	60 億 8,144 万円
介護サービス	7,675 万円	4,908 万円
後期高齢者医療	9 億 2,262 万円	9 億 2,033 万円

会計名	区分	収入	支出
水道事業	収益的	9 億 8,975 万円	9 億 3,065 万円
	資本的	5,510 万円	3 億 3,925 万円
	合計	10 億 4,485 万円	12 億 6,990 万円
病院事業	収益的	126 億 3,520 万円	120 億 6,884 万円
	資本的	7 億 7,801 万円	9 億 8,140 万円
	合計	134 億 1,321 万円	130 億 5,024 万円

※ 資本的支出に対する資本的収入の不足は、留保資金などにより補てんします。

用語の解説

(水道事業)
 収益的収入／水道料金など
 収益的支出／人件費、受水費など
 資本的収入／借入金など
 資本的支出／水道管の布設工事費など

(病院事業)
 収益的収入／検査料、入院料など
 収益的支出／人件費、薬品や医療材料の購入費など
 資本的収入／市の一般会計からの出資金など
 資本的支出／医療機器購入費など



子育て世代型住宅 (川根町家山)

会計	費目	金額
一般会計	総務	192 億 8,449 万円
	土木	112 億 3,789 万円
	教育	55 億 6,002 万円
	衛生	50 億 3,215 万円
	農林業	12 億 6,552 万円
	消防	8 億 3,460 万円
	民生	4 億 5,203 万円
	商工	2 億 2,712 万円
	災害復旧	2,635 万円
	計	439 億 2,017 万円
特別会計	簡易水道	2 億 6,004 万円
	公共下水道	47 億 8,294 万円
	計	50 億 4,298 万円
企業会計	水道事業	15 億 3,998 万円
	病院事業	31 億 2,298 万円
	計	46 億 6,296 万円
合計		536 億 2,611 万円
市民 1 人当たり (※)		521,300 円

※平成23年3月31日現在(102,870人)で計算しています。

◆特別会計決算

特別会計とは、多岐にわたる事務を処理するために、一般会計と区分して設けた会計です。
 国民健康保険や公共下水道など、市が特定の事業を行う場合に、保険料や下水道料金などの特定の収入を特定の支出に充てます。
 このように独立して行う事業を特別会計として区分して経理しています。

◆企業会計決算

企業会計とは、利用者からの料金により、公共の利益を目的に経営する事業の会計で、病院事業と水道事業があります。
 事業で得られる利益を「収益的収入」、それにかかる支出を「収益的支出」といい、将来の経営活動に備えて行う建設事業などの財源を「資本的収入」、それにかかる支出を「資本的支出」といいます。

◆借りているお金